

2021年12月13日(月)

### ① 米国個人金融資産

FRBが9日に発表した資金循環統計によると、9月末の米国家計の純資産残高は **144兆ドル**と過去最高。19年末に比べ24%増加した。

144兆ドル=1京6344兆円を3億3000万人で割りますと、1人あたり **4952万円**となります。日本の3倍ですね。

### ② 企業物価

日銀が10日発表した11月の企業物価指数は前年同月比 **9.0%**上昇した。

伸び率はオイルショックが影響していた1980年12月以来およそ41年ぶりの大きさ。

原油など国際商品価格の上昇に加え、円安で原材料にかかる輸入品が値上がりしている。

新型コロナウイルス禍で景気回復の足取りが鈍いなか、企業収益を圧迫する懸念が強まってきた。

公表している744品目のうち、前年同月比で上昇したのは453品目で下落の207品目を大幅に上回った。

物価上昇の動きはおよそ6割の品目におよび、足元では飲食料品など幅広い分野に広がりつつある。

### ③ 米CPI

米労働省が10日発表した11月の消費者物価指数(CPI、1982~84年=100)は前年同月比の上昇率が **6.8%**と、約39年ぶりの高水準に勢いを強めた。

10月の6.2%からさらに加速し、1982年6月(7.1%)以来の強さとなった。

7カ月連続で5%以上の伸びが続いた。伸びを前月比でもみても0.8%と、前月の0.9%と並ぶ高い水準にとどまっている。

**変動の大きい食品とエネルギーを除く上昇率**も前年同月比で **4.9%**と、10月の4.6%から一段と加速した。

値上がりは幅広い品目におよんでいる。

ガソリン価格は前年同月比で6割近く上昇し、車社会の米国で市民生活を直撃している。

個人消費は底堅く、中古車価格は1年前から31.4%上がった。

食品価格は6.1%上昇した。年末商戦も本格化し、強い需要に供給が追いつかない状況が続いている。

FRBのパウエル議長は11月末、高インフレを「一時的」としてきた従来の表現を撤回する意向を表明した。

インフレが長期化していることへの警戒を強め、14~15日のFOMCでは1カ月前に始めたばかりの量的緩和縮小(テーパリング)のペースを速める見込み。

### ④ オミクロン型

英国保健安全局が11月20日~12月5日のデータを調べたところ、オミクロン型の感染者361人のうち25人が新型コロナへの再感染、デルタ型では約8万5千人のうち336人が再感染だった。年齢や地域などの要因を統計処理すると、**オミクロン型の再感染リスクはデルタ型の5.2倍**(3.4~7.6倍)となった。

分析値は今後のデータで変動する可能性があるが、オミクロン型は免疫を突破して再感染しやすくなっているようだ。家庭内感染のリスクも上昇している。

**感染者から家庭内の接触者にうつる二次感染リスク**はデルタ型の10.7%に対し、オミクロン型では21.6%と**約2倍**だった。